

## 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果・分析

南伊勢町

令和7年11月

本町では、教育施策や学校における指導方法の工夫改善につなげるため、これまでも、町学力向上委員会等で、児童・生徒の学力・学習状況を把握し、課題について検証してまいりました。今年度も、全小・中学校において、文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査を通して、教科の概要とともに、児童・生徒の意識調査から学習に対する興味・関心や生活習慣・学習習慣等に見られる課題について分析を行いました。

本町の教育が目指すところは、「生きる力」の育成という理念のもと、「知」「徳」「体」の調和のとれた教育活動を充実させ、『自らの夢に向かって、心豊かにたくましく生き抜く子どもの育成』です。

各学校において、1人1台の学習用端末や電子黒板等の ICT 機器を効果的に活用しながら、子どもの学力向上につながる「魅力ある授業づくり」等、具体的な指導方法の工夫改善を図るとともに、教育委員会としまして、調査結果の分析を各学校の授業研究を支援する体制づくり等、教育施策に反映させ、確かな学力を育む取組を積極的に進めてまいります。

### 教科に関する調査の結果・分析

#### (1) 本町における特徴的な傾向

##### <小学校国語>

##### ○ 強み

##### ・ 問題2四イ

平均正答率 86.2% (三重県 74.3%、全国 72.1%)

学年別漢字配当表に示されている漢字(暑い)を文の中で正しく使うことができています。

##### ・ 問題3三(2)

平均正答率 72.4% (三重県 55.0%、全国 56.3%)

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができています。

##### ○ 弱み

##### ・ 問題1二

平均正答率 55.2% (三重県 62.6%、全国 63.1%)

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う力をつける必要があります。

・ 問題1ー

平均正答率 44.8% (三重県 52.2%、全国 53.3%)

目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する力をつける必要があります。

・ 問題3二(2)

平均正答率 24.1% (三重県 48.3%、全国 51.3%)

事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力をつける必要があります。

■ 全体の傾向から見られる課題

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力や、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができています。しかし、情報、図、語句、事実、感想、意見等を関係付けて考える力をつける必要があります。学習指導にあたっては、目的や意図に沿って、線や囲みなどで図示しながら情報を整理する学習や、相手に聞くために、知りたいことについて、自分が知っていることや予想したこと、疑問に感じていること等を、目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、それらを互いに結び付けて関係を明確にしたりする学習等を行うことが大切です。

<小学校算数>

○ 強み

・ 問題4(1)

平均正答率 86.2% (三重県 81.1%、全国 82.8%)

伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができています。

・ 問題4(3)

平均正答率 75.9% (三重県 60.3%、全国 60.9%)

はかりの目盛りを読むことができています。

○ 弱み

・ 問題2(2)

平均正答率 34.5% (三重県 44.9%、全国 50.2%)

台形の意味や性質についての理解を向上させる必要があります。

・ 問題3(2)

平均正答率 13.8%(三重県 21.7%、全国 23.0%)

分数の加法について、共通する単位分数を見だし、仮数と被仮数が、共通する単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述する力をつける必要があります。

・ 問題4(4)

平均正答率 10.3%(三重県 37.5%、全国 40.9%)

「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表す力をつける必要があります。

■ 全体の傾向から見られる課題

伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだす力や、はかりの目盛りを読む力が身に付いてきています。しかし、特に、基準量と比較量、割合の関係を正しく捉える力をつける必要があります。学習指導に当たっては、言葉や図、式を関連付けながら数量の関係を考察できるようにすることが大切です。

<小学校理科>

○ 強み

・ 問題1(2)

平均正答率 79.3%(三重県 63.1%、全国 60.5%)

水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができています。

・ 問題3(1)

平均正答率 82.8%(三重県 68.0%、全国 70.7%)

花のつくりや受粉についての知識が身に付いています。

○ 弱み

・ 問題2(1)

平均正答率 3.4%(三重県 9.5%、全国 10.6%)

身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識を身に付ける必要があります。

・ 問題3(3)

平均正答率 37.9%(三重県 57.4%、全国 62.0%)

発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現する力をつける必要があります。

・ 問題4(1)

平均正答率 34.5%(三重県 52.3%、全国 50.6%)

水の温まり方について、問題に対するまとめを導きだす際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現する力をつける必要があります。

■ 全体の傾向から見られる課題

理科用語を用いて、【結果】を基に考察し、【問題に対するまとめ】の理由を適切に表現する力が身に付いてきています。しかし、観察、実験の結果や結論を、図に整理したり、言葉で説明したりするなど、知識と関係付けて理解を深めること、また、予想や仮説を基に、実験を進めたり、見直したりする力をつける必要があります。学習指導に当たっては、問題解決の様々な場面で、計画した実験が予想を確かめられるのかについて検討したり、改善したりする活動を行うことが大切です。

<中学校国語>

○ 強み

・ 問題1一

平均正答率 51.2%(三重県 33.8%、全国 35.2%)

文脈に即して漢字を正しく使うことができています。

・ 問題2三

平均正答率 82.9%(三重県 72.9%、全国 73.4%)

自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができています。

○ 弱み

・ 問題1四

平均正答率 29.3%(三重県 32.3%、全国 31.0%)

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く力をつける必要があります。

・ 問題2四

平均正答率 14.6% (三重県 23.7%、全国 23.2%)

資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する力をつける必要があります。

・ 問題3四

平均正答率 14.6% (三重県 16.0%、全国 17.1%)

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考える力をつける必要があります。

■ 全体の傾向から見られる課題

文脈に則して漢字を正しく使うことや自分の考えを明確にし、相手に伝わるように、整理・構成・表現する力が身に付いてきています。しかし、特に、根拠を明確にして書く力をつける必要があります。学習指導に当たっては、接続する語句や指示する語句を用いるなどして、伝えたい事柄とその根拠とを適切に結び付けたり、事実や事柄を具体的に示したりして書くことができるようにすることが大切です。

<中学校数学>

○ 強み

・ 問題6(1)

平均正答率 68.3% (三重県 59.3%、全国 62.8%)

事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができています。

・ 問題9(1)

平均正答率 70.7% (三重県 57.7%、全国 58.5%)

証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができています。

○ 弱み

・ 問題1

平均正答率 19.5% (三重県 26.5%、全国 31.8%)

素数の意味を理解する力をつける必要があります。

・ 問題6(3)

平均正答率 26.8% (三重県 45.0%、全国 45.2%)

目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する力をつける必要があります。

## ■ 全体の傾向から見られる課題

事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることや、証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだす力がついてきています。しかし、事象を数や式を用いて考察する場面において、数や式の特徴を的確に捉える力をつける必要があります。学習指導に当たっては、自然数を素因数分解することを通して、素数や整数に対する見方をさらに広げ、素数や整数の性質についての理解を深めることが大切です。また、事柄が一般的に成り立つ理由を、構想を立て、文字式や言葉を用いて根拠を明確して説明する力もつける必要があります。学習指導に当たっては、成り立つ性質を予想したり、その予想が成り立つことを説明したりすることが大切です。

### <中学校理科>

#### ○ 強み

##### ・ 問題Ⅰ(5) (「粒子」領域)

平均正答率 70.7% (三重県 41.1%、全国 44.9%)

元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いています。

##### ・ 問題Ⅰ(6) (「粒子」領域)

平均正答率 90.2% (三重県 78.1%、全国 79.4%)

科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りが表現できています。

#### ○ 弱み

##### ・ 問題Ⅰ(3) (「地球」領域)

平均正答率 34.1% (三重県 34.7%、全国 36.2%)

地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈する力を身に付ける必要があります。

##### ・ 問題Ⅰ(4) (「生命」領域)

平均正答率 29.3% (三重県 31.1%、全国 29.7%)

生命を維持する働きに関する知識を身に付ける必要があります。

## ■ 全体の傾向から見られる課題

「粒子」の領域、また、上記にはありませんが「エネルギー」の領域の問題に対する知識が身に付いてきています。しかし、「地球」「生命」の領域で、既習事項と関連付けること、共通点と知識とを関連付けることに課題が見られました。学習指導に当たっては、共通点

や相違点を挙げ、学習事項に関する知識を基に、それらの特徴から考察する学習場面を設定することが大切です。

## (2) 学習への関心・意欲・態度

| 質問項目                                   |   | 南伊勢町  | 三重県  | 全国   |
|----------------------------------------|---|-------|------|------|
| 国語の勉強は好きですか                            | 小 | 61.3  | 53.6 | 58.3 |
|                                        | 中 | 68.3  | 58.0 | 57.9 |
| 国語の授業の内容はよく分かりますか                      | 小 | 96.8  | 83.4 | 82.8 |
|                                        | 中 | 85.4  | 80.0 | 77.0 |
| 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか    | 小 | 87.1  | 90.5 | 90.4 |
|                                        | 中 | 100.0 | 88.3 | 88.3 |
| 算数・数学の勉強は好きですか                         | 小 | 64.5  | 58.8 | 57.9 |
|                                        | 中 | 58.5  | 55.2 | 53.8 |
| 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか                   | 小 | 96.8  | 81.7 | 78.3 |
|                                        | 中 | 78.1  | 75.7 | 70.3 |
| 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 小 | 90.4  | 92.8 | 91.6 |
|                                        | 中 | 82.9  | 77.9 | 75.2 |
| 理科の勉強は好きですか                            | 小 | 83.9  | 76.3 | 80.1 |
|                                        | 中 | 78.0  | 62.6 | 63.8 |
| 理科の授業の内容はよく分かりますか                      | 小 | 90.3  | 87.8 | 88.9 |
|                                        | 中 | 82.9  | 75.1 | 71.4 |
| 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか    | 小 | 80.7  | 80.1 | 79.9 |
|                                        | 中 | 68.3  | 65.6 | 63.4 |

※上記については「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した数値

### <全体的傾向と課題>

どの教科においても、児童生徒の関心、理解度、将来での必要感が県や国の平均より高い傾向にあります。しかし、小学校児童について、国語科・算数科において、将来での必要感が県や国の平均と比べ低いのが課題です。